

真・魅力通信



保幼小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

第2回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会 その④ ～取組の真化を目指して～

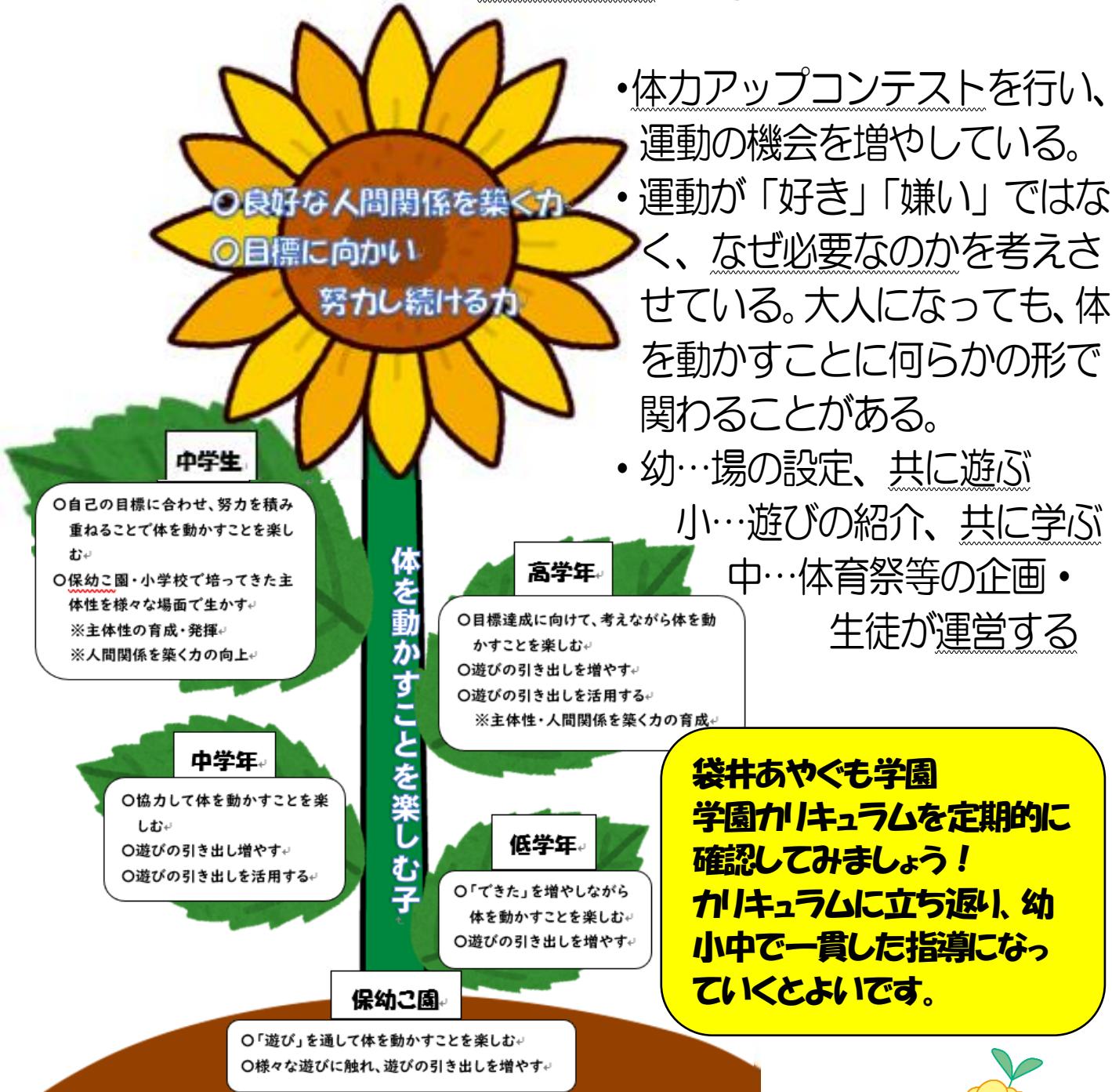


前号に引き続き、6月7日（水）に行われた袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会の分散会の様子を取り上げます。
「体づくり部」が袋井あやぐも学園カリキュラムをもとに「各園校で具体的にどのように取り組んでいくのか」協議しました。

＜体づくり部より＞

- ・個人個人竹馬を作っている幼稚園がある。
- ・テーマの中で体を使って遊び楽しさを伝えている。また、ルールを守りながら遊びができるようにしている。
- ・保健体育の授業で、遊びを積極的に入れている。
- ・中学校では、遊びが生きた経験が生かされている。生徒主体で作る体育大会において、競技の種目やルール決めが自分たちができる。

- ・ゆたかな遊びプロジェクトを実施し各学年で遊びの道具を充実させている。転がしドッジボールなど、バリエーションを増やしている。
- ・縦割り活動を実施したり、木曜日をクラス遊びの日に設定したりしている。
- ・保健体育の授業では、子どもたちの関わりが自然に発生する。その中で、子どもたちからのアイデアを引き出していくみたい。
- ・なかよしタイムを実施し、異学年交流を行っている。



※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「ホームページ 学園情報」を御覧ください。

